

ArCS テーマ7 総括シンポジウム

# 「北極の人間と社会」

第1部 (午後1時～3時15分)

研究成果の紹介

「北極海航路、過去、現在、未来」

大塚夏彦 (北海道大学北極域研究センター)

「気候変動に対する先住民社会の適応支援に向けて」

高倉浩樹 (東北大学東北アジア研究センター)

「北極における『法の支配』のゆくえ」

柴田明穂 (神戸大学極域協力研究センター)

第2部 (午後3時30分～5時30分)

パネルディスカッション「これからの日本の北極政策の展望」

司会：田畑伸一郎 (北海道大学)

パネリスト (50音順)

榎本浩之 (国立極地研究所), 大塚夏彦 (北海道大学), 大西富士夫 (北海道大学),

柴田明穂 (神戸大学), 高倉浩樹 (東北大学), 立澤史郎 (北海道大学),

浜田隆 (内閣府総合海洋政策推進事務局), 三好真理 (外務省北極担当大使), 渡邊達郎 (商船三井)

日時：2月14日 (金) 午後1時～5時30分

会場：東京大学教養学部 21

Komaba Center for Educational Excellence

(21 KOMCEE) East 棟 011号室

(〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1)

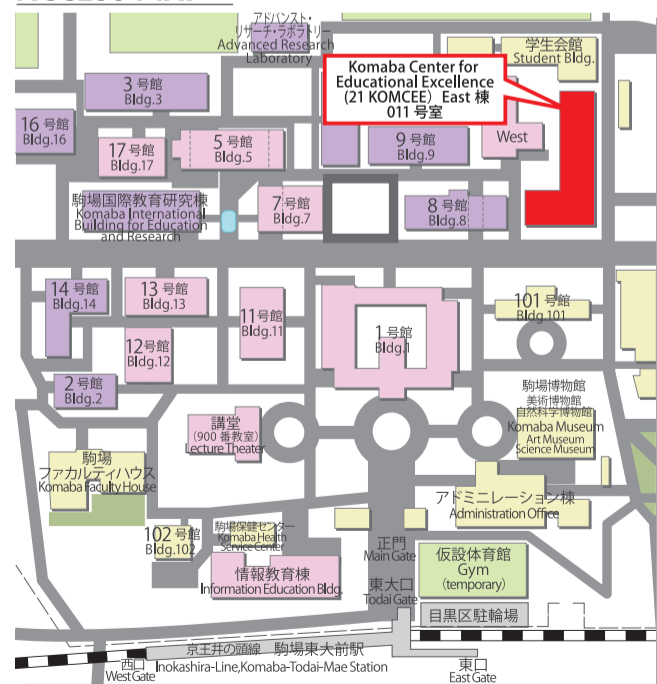
主催：北極域研究推進プロジェクト (ArCS)

テーマ7「北極の人間と社会」

共催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

北海道大学北極域研究センター

ACCESS MAP



参加は無料です。参加ご希望の方は、左記の二次元バーコード  
または北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターのサイトから  
参加登録をしてください。 <http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/>

